

平成27年度
第2回

今金町地域交通協議会

(今金町地域公共交通確保維持改善協議会)

議案

日時：平成27年7月10日(金)

15時00分～

場所：今金町役場 2階会議室

今金町地域公共交通確保維持改善協議会 委員名簿 (H27.6.4現在)

任期 平成27年6月4日～平成29年3月31日

NO	役職	委員名	所属
1	会長	外 崎 秀 人	今金町長
2	委員	中 山 俊 彰	国土交通省北海道運輸局函館運輸支局
3	委員	水 島 敦	北海道檜山振興局
4	監事	藤 川 治 喜	自治会町内会連合会
5	委員	岸 本 義 仁	今金町老人クラブ連合会
6	監事	加 藤 秀 明	今金町民生委員児童委員協議会
7	委員	上 野 義 則	金原連合自治会
8	委員	鈴 木 一 雄	豊田連合自治会
9	委員	水 野 美 江	金原婦人会
10	副会長	辻 紀 英	今金町社会福祉協議会
11	委員	西 川 達 也	函館バス株式会社
12	委員	松 本 年 弘	有限会社東ハイヤー

事務局

寺 崎 康 史 山 田 哲 也 佐 藤 創 廣 嶋 絵理子	町まちづくり推進課長 同課長補佐 同係長 同係長
--	-----------------------------------

庁舎内ワーキング委員会

保健福祉課・教育委員会事務局・国保病院・まちづくり総合戦略室

次 第

1. 挨拶 今金町地域公共交通確保維持改善協議会長 外崎 秀人

2. 報 告

報告第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について 資料①
(今金町デマンドバスの運行について)

3. 議 事

議案第1号 田代・稲穂地区のデマンドバス実証調査9月実施内容について 資料②

議案第2号 今後のスケジュールについて 資料③

4. そ の 他

様式第1-6 (日本工業規格A列4番)

今政策第 30 号
平成27年6月26日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 今金町地域公共交通確保維持改善協議会
住 所 瀬棚郡今金町字今金48の1
代表者氏名 会長 外崎 秀 人 印

地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書

地域内フィーダー系統確保維持計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、別添の記載すべき事項を全て記した地域内フィーダー系統確保維持計画を添付すること。

平成28年度今金町地域内フィーダー系統確保維持計画

今金町地域公共交通確保維持改善協議会

会長 外崎 秀人

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

・今金町の人口は6,186人（22年国勢調査）で内75歳以上の高齢者は、既に住民の5人に1人にあたる1,200人規模（2010年）に達し、今後さらに増えていくことが予想されます。これまでの自家用車中心の地域交通のままでは、今後、日常生活において不便になる世帯が増加しかねません。

このため、町は、これまでの函館バスによる長万部・せたな間の幹線運行、スクールバス、患者輸送（福祉）バスという公共交通について見直し、新しい地域交通の検討を平成24年度より始めました。

・平成25年度に八束・白石地区で実施した地域交通確保調査事業に基づき、現況調査及び住民ニーズ調査などの結果を踏まえた上で、従来の公共交通サービスであった、路線バス・患者輸送バス・スクールバスの運行を見直し、新たな公共交通システムをとって地域内フィーダー系統確保維持計画を作成し、町内交通不便地域の解消を図ってきており、当該地区については、スクールバス一般混乗の導入及び地域間幹線に接続するデマンドバスの導入を平成26年10月から実施し、新たに金原・豊田地区、日進地区において実証調査運行を実施しました。今回策定する計画では、持続的な公共交通として地域に定着させ、特に町南部でのデマンドバス導入地域の拡大を図ることを目的とします。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

(1) 事業目標

八束・白石地区については、平成26年10月以降の利用実績を参考に同等値を目標値とし、また、金原・豊田、日進地区については、平成26年度で実施した実証調査運行時の利用者数を参考に、平均値に対しその1割増を目標値とする。

【八束・白石地区】

平成26年度八束・白石地区利用実績	月平均約240人（10月～3月 1,435人）
年度換算人数	2,880人
目標人数（年間）	2,880人

【金原・豊田地区】

金原・豊田地区実証調査利用実績	月平均約56人（9月24人、2月89人）
年度換算人数	672人
目標人数（年間）	739人

【日進地区】

日進地区実証調査利用実績	月平均約21人（9月22人、2月21人）
年度換算人数	252人
目標人数（年間）	277人

(2) 事業の効果

- ①幹線バス（長万部～瀬棚線）のアクセスができ、利用促進が図られる。
- ②各地区と市街地間における移動手段が充実する。
- ③各地区と病院や商業施設等が結ばれることで日常生活に必要な社会基盤が維持される。
- ④地区内外問わず高齢者の社会参加が促進される。
- ⑤行政サービスの向上が図られる。
- ⑥高齢者の交通事故の減少が図られる。

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」のとおり。

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

- ・有限会社 東ハイヤー

6. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法

- ・該当なし。

7. 別表4及び別表4-1の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

- ・該当なし。

8. 別表4及び別表4-1の補助事業の基準八に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

- ・該当なし。

9. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

- ・地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱「表5」のとおり。

10. 車両の取得に係る目的・必要性

- ・該当なし。

11. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

- ・該当なし。

12. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額

- ・該当なし。

13. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

- ・該当なし。

14. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成 25 年 4 月～平成 27 年 2 月
前年度申請計画に記載のため省略
- ・平成 27 年 3 月 17 日 平成 26 年度第 4 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会
デマンドバス運行状況、実証調査実施概要、幹線系統利用促進対策実施状況、
UD 車両の導入、次年度計画等
- ・平成 27 年 6 月 4 日 平成 27 年度第 1 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会
本計画の承認、実証調査の実施、年間計画の承認

15. 利用者等の意見の反映状況

・平成 24 年度町独自で実施した今金町地域交通サービス導入調査において、各地区（13 地区）住民聞き取り調査、各地区代表及び民生委員等 30 名でのワークショップの開催を行い、地域住民の交通課題及びニーズの把握を行い、それをベースとした報告書を作成した。その報告書をもとに平成 25 年度においては、八束・白石地区を実証調査エリアとして 9 月・2 月に実施。実施後のアンケートや聞き取りを行い、課題把握を行った。これらのデータをもとに協議会で検討を経て平成 26 年 10 月から八束・白石地区での運行を開始した。

また、平成 26 年度は 9 月・2 月に金原・豊田地区、日進地区で実証調査運行を行い、実施前後に当該地区の民生委員にも協力をいただきながらアンケートや聞き取りを行うほか、八束・白石地区では日常的に利用者から運行事業者へ届く声に基づき、運行事業者においても聞き取りを行っていただき、平成 27 年 4 月から運行時刻の変更などを行った。

平成 24 年 5 月～6 月 13 地区の老人クラブ等会合に出向き調査説明 聞き取り調査

平成 24 年 6 月 28 日 10 地区民生委員、青年団体、女性団体等 30 名交通ワークショップ

平成 24 年 8 月 3 日 アンケート実施に係る事前協力文書の配布町内回覧

平成 24 年 8 月 20 日 地域交通全町民アンケート 約 2600 世帯（回収率 24%）

平成 25 年 5 月～6 月 13 地区の老人クラブ等会合 実証調査の概要、聞き取り調査

平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月

八束・白石地区実証調査事前説明会、課題聞き取り、実証調査後の聞き取り調査及びアンケート調査

平成 26 年 6 月～8 月

10 地区の老人クラブ等会合で、デマンドバス及び実証調査の概要説明、課題聞き取り

平成 26 年 8 月～平成 27 年 3 月

日進地区、金原・豊田地区実証調査事前説明会、課題聞き取り、実証調査後の聞き取り及びアンケート調査

平成 27 年 2 月 運行事業者による八束・白石地区利用者への聞き取り

平成 27 年 4 月 金原地区民生委員から聞き取り及び一部個別訪問により聞き取り

16. 今金町地域公共交通確保維持改善協議会の構成員

- (1) 関係都道府県 ・ 北海道檜山振興局地域政策部地域政策課長
- (2) 関係市町村 ・ 今金町長
- (3) 関係交通事業者 ・ 函館バス（株）北檜山出張所長
 ・ 有限会社東ハイヤー代表取締役
- (4) 地方運輸局 ・ 北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）
- (5) その他協議会が必要とする者（次の各団体からの代表者）
 - ・ 今金町自治会町内会連合会
 - ・ 今金町老人クラブ連合会
 - ・ 今金町民生委員児童委員協議会
 - ・ 金原連合自治会
 - ・ 豊田連合自治会
 - ・ 金原婦人会
 - ・ 今金町社会福祉協議会

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 北海道瀬棚郡今金町字今金48-1
(所属) 今金町まちづくり推進課企画政策グループ
(氏名) 廣嶋 絵理子
(電話) 0137-82-0111 (内線137)
(E-mail) imk-kikakushinko@town.imakane.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内ファイダー系統)

平成28年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業 に要する国庫 補助額 (千円)	国庫補助金内 定申請額 (千円)	再 編 特 例 措 置	地域内ファイダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
						乗合バス型/ デマンド型の別	基準口で 該当する要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 と接続確保策	基準二で 該当する要件 (別表7のみ)
今金町	(有)東ハイヤー	(1)八束・白石地区線	1,634.0 千円	4,154 千円		①	①	③	
	(有)東ハイヤー	(2)金原・豊田地区線	1,397.5 千円			①	①	①	
	(有)東ハイヤー	(3)日進地区線	1,123.0 千円			①	①	①	
合 計									

国庫補助金内定申請額(千円)(合計と国庫補助上限額を比べて少ない額)	4,154 千円
国庫補助 上限額 (千円)	4,237 千円

1. 「確保維持事業に要する国庫補助額(千円)」は表2における「補助対象系統の1/2」を小数点第1位(百円単位)まで記載する。
2. 「国庫補助額内定申請額(千円)」には、各運行予定者毎でまとめて表2における「国庫補助金内定申請額」を記載する。
3. 「再編特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内ファイダー系統に係る特例措置の適用を受ける場合のみ、「○」を記載する。
4. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」には、地域内ファイダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載する。
5. 本表に記載する運行予定系統を示した地図を添付すること。

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域内フィーダー系統【デマンド型(区域)運行】用)

事業者名	(有)東ハイヤー
------	----------

平成28年度

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の前々年度の損益状況	乗合バス事業・自家用有償旅客運送					
	営業収益	701 千円	営業外収益	千円	経常収益(イ)	701 千円
	営業費用	9,005 千円	営業外費用	千円	経常費用(ロ)	9,005 千円
営業損益	△ 8,304 千円	営業外損益	千円	経常損益	△ 8,304 千円	
補助対象期間の前々年度の保有車両数(ハ)	5 台	補助対象期間の前々年度の1台当たりサービス提供時間(ニ)	773.2 時間	経常収支率	7.78 %	

2. 時間当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の時間当たり経常費用 ロ÷ハ÷ニ=ホ	地域時間当たり標準経常費用 ヘ	時間当たり経常費用ホとへのいずれか少ない額 ト	時間当たり経常収益 イ÷ハ÷ニ=チ
南北海道	2,329 円 .28 銭	2,721 円 .96 銭	2,329 円 .28 銭	181 円 .32 銭
	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブロック名	申請番号	運行系統名	運行系統			計画運行日数	計画運行回数	1回当たりサービス提供時間 リ	リのうち補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間 ヌ	リのうち同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間 ル	補助ブロック外乗入れ部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入れ部分以外のサービス提供時間の比率 (リ-(ヌ+ル))÷リ=ワ	計画サービス提供時間 ヅ
			発地	営業区域	着地							
南北海道	1	八束・白石地区線	八束・白石地区	今金町	今金国保病院ほか	298 日	223.0 回	6.8 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	1,521.7 時間
南北海道	2	金原・豊田地区線	金原・豊田地区	今金町	今金国保病院ほか	298 日	138.5 回	9.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	1,301.5 時間
南北海道	3	日進地区線	日進地区	今金町	今金国保病院ほか	298 日	73.5 回	14.2 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	1,045.7 時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
合計		3 系統						30.3 時間	0.0 時間	0.0 時間		3,868.9 時間

補助ブロック名	申請番号	補助対象経常費用の見込額 ト×ワ以下の額:カ	経常収益の見込額 チ×ワ以上の額:ヨ	補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カーヨ=タ	タのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入部分以外に係るもの タ×ワ=ツ	補助対象経費 ネ	補助対象経費の1/2 ネ×1/2=ナ	国庫補助上限額 ラ	国庫補助金内定申請額(ナ又はアのうちのいずれか少ないほうの額) ム
南北海道	1	3,544,465円	275,915円	3,268,550円	3,268,550円	3,268 千円	1,634.0 千円		
南北海道	2	3,031,557円	235,988円	2,795,569円	2,795,569円	2,795 千円	1,397.5 千円		
南北海道	3	2,435,728円	189,607円	2,246,121円	2,246,121円	2,246 千円	1,123.0 千円		
		円	円	円		千円	千円		
		円	円	円		千円	千円		
		円	円	円		千円	千円		
合計		9,011,750円	701,510円	8,310,240円	8,310,240円	8,309 千円	4,154 千円	4,237 千円	4,154 千円

補助ブロック名	申請番号	経常費用から経常収益を控除した額 ホ×ワ-ヨ=ウ	損失額から国庫補助額を控除した額 ウ-ム=ノ	ノの負担者とその負担割合								「その他の者」の具体的概要	
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担			
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
南北海道	1	3,268,550円											
南北海道	2	2,795,569円											
南北海道	3	2,246,121円											
		円											
		円											
		円											
合計		8,310,240円	4,156,240円	円	%	4,156,240円	100.0%	円	%	円	%		

(1) 記載要領

- 1.「補助ブロック名」の欄は、補助金交付要綱別表6(附則第3条の適用を受ける事業者にあつては別表28)の名称を記載すること。
- 2.乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節及び第5節に係る経常費用を除くこと。
- 3.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)と相違している事業者にあつては、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 4.補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)中の乗合バス(自家用有償運送)事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、原則として昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号によること。
- 5.「補助対象期間の前々年度の保有車両台数」の欄は、事業者が保有する車両数でなく、生活交通確保維持改善計画に記載された運行系統を運行するにあたって必要な車両台数を記載すること。
- 6.申請番号は、系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 7.地域時間当たり標準経常費用は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 8.計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 9.「1回当たりサービス提供時間」(リ欄)については、【(1回あたり平均運行時間)+(1日あたり平均待機時間/1日あたり運行回数)】により算出すること。
- 10.「1回当たりサービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。また、合計の欄については、各申請系統のサービス提供時間の合計を記載すること。
- 11.「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」の欄は、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(又)に記載すること。
- 12.「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率(ラ)」については、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 13.「計画サービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 14.「補助対象経費」の欄は、(ツ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 15.「補助対象経費の1/2」の欄は、系統ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 16.「国庫補助上限額」の欄は、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者ごとに配分した額を記載すること。
- 17.「補助対象期間の前々年度の損益状況」の欄は、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- 18.サービス提供時間とは、事業開始時間(運行開始時間)から事業終了時間(運行終了時間)までの間をいい、その間の待機時間、回送時間、予約受付にかかる時間についても含める。なお、サービス提供時間外に行われる予約受付等については、補助対象外とする。
- 19.待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。但し、休憩時間及びその他事業に従事している時間は含めない。
- 20.回送時間について、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。なお、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。
- 21.複数系統を運行する車両(1台で3系統運行等)の待機時間については、明確に待機時間を算出することは困難である場合は、原則として、系統毎の計画サービス提供時間(ワ欄)を系統数の合計値で除す若しくは系統毎の運行回数に応じた算出方法により算出されたい。

(2) 添付書類

1. 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く)及びこれに関連する必要な事項を記載した書類

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	今金町
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	6,186
交通不便地域	6,186

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
6,186	今金町全域	過疎地域自立促進特別措置法

国庫補助上限額の算定

対象人口	算定式	国庫補助上限額
6,186	$6186人 \times 200 + 300万円 = 4237千円$	4,237 千円

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する事業年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域（過疎地域とみなされる市町村、過疎とみなされる区域を含む。）、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域、半島振興法に基づく半島振興対策実施地域、山村振興法に基づく振興山村に該当する地域の人口及び実施要領（2.（1）⑫）に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

今金行便

八束・白石地区 予約バス「ルンるん号」H27 時刻表

今金行便

平成27年4月1日～平成28年3月31日

予約先 東ハイヤー
☎ 82-0166



☆今金行 1便(スクールバス 無料 月～金)

※①～⑩までの乗車場所は、児童生徒宅前からの利用となります。

前日の夕方5時までか、当日の朝7時までに電話で予約が必要です

東ハイヤー 7:10	①平原 宅前 7:15	②竹内(佳)宅前 7:17	③竹内(尊)宅前 7:20	④村瀬 宅前 7:23	⑤阪井 宅前 7:28	⑥水口 宅前 7:29	⑦木島 宅前 7:34	⑧西勝幸 宅前 7:35	⑨近 宅前 7:40
									⑩尾野 宅前 7:41
		町内最寄り施設 国保病院・役場・としべつ・Aコープ など		今金小学校	今金中学校	今金バスターミナル 7:55			

☆今金行 2便(予約バス 有料200円 月～土)

<①～⑩までの乗車場所は、目安で設定しております。予約の際は必ず、住所・氏名をお伝え下さい。>

前日の夕方5時までか、当日の朝7時30分までに電話で予約が必要です

東ハイヤー 8:05	①八鈴西 宅前 8:10	②小池 宅前 8:15	③にござり川前 8:20	④向井 宅前 8:23	⑤白石寿の家 8:29	⑥田中 宅前 8:33	⑦横平 宅前 8:36	⑧野田 宅前 8:44	⑨浜田 宅前 8:47
									⑩楠原 宅前 8:52
		町内最寄り施設 国保病院・役場・としべつ・Aコープ など		今金バスターミナル 9:17		⑬山本 宅前 9:04	⑫初田会館 8:59	⑪山崎 宅前 8:57	

☆今金行 3便(予約バス 有料200円 月～土)

<①～⑩までの乗車場所は、目安で設定しております。予約の際は必ず、住所・氏名をお伝え下さい。>

前日の夕方5時までか、当日の朝8時30分までに電話で予約が必要です

東ハイヤー 9:05	①八鈴西 宅前 9:10	②小池 宅前 9:15	③にござり川前 9:20	④向井 宅前 9:23	⑤白石寿の家 9:29	⑥田中 宅前 9:33	⑦横平 宅前 9:36	⑧野田 宅前 9:44	⑨浜田 宅前 9:47
									⑩楠原 宅前 9:52
		町内最寄り施設 国保病院・役場・としべつ・Aコープ など		今金バスターミナル 10:17		⑬山本 宅前 10:04	⑫初田会館 9:59	⑪山崎 宅前 9:57	

【予約制バスに関する問い合わせ先：役場まちづくり推進課 電話 82-0111】

八束・白石地区 予約バス「ルンるん号」H27 時刻表



八束・白石
地区
帰り便
(予約制バス)

予約先 東ハイヤー
☎ 82-0166

平成27年4月1日～平成28年3月31日

今金バスターミナル	今金小学校	今金中学校	料 金
帰り1便			有料 200円
帰り2便	14:40		スクールバスは無料 予約バスの場合200円
帰り3便	15:50	16:05	スクールバスは無料 予約バスの場合200円
帰り4便	16:50		有料 200円
帰り5便	19:15		有料 200円

予約者の
自宅近く
停留場所
へ!

必ず出発30分前まで予約が必要です

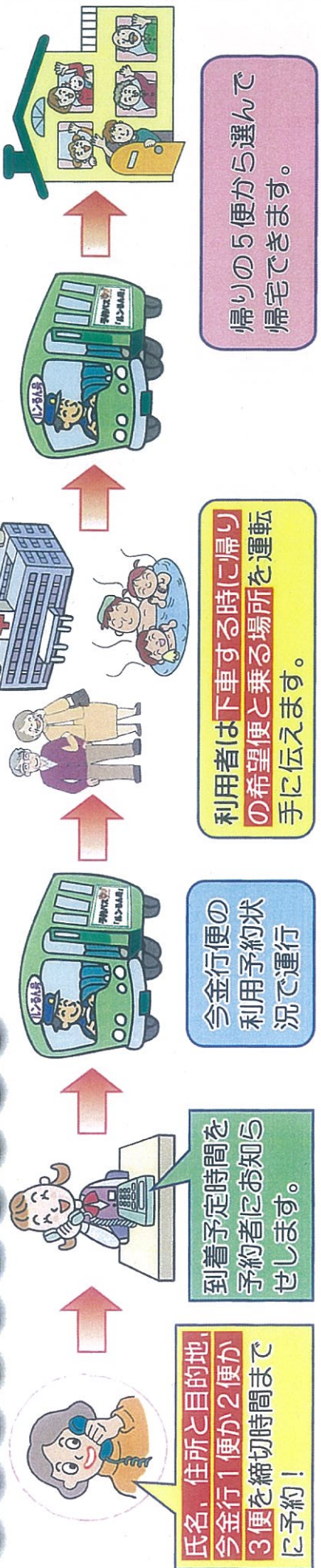
町内最寄り施設
 国保病院・役場
 としべつ・郵便局
 銀行・あったがらんど
 農協・Aコープなど

予約があつた最寄り施設に迎えに行きます。

※帰り2便と3便はスクールバスです。(スクールバス利用時も事前の予約が必要です。)
 スクールバスは無料で乗車出来ませんが、下車箇所はスクールバスで決められた停留所(児童・生徒宅付近)のみとなります。
 又、スクールバスは、曜日や、児童生徒の利用に応じて、時間帯など変わる場合がありますので、運転手さんが東ハイヤー今金営業所に確認をして利用してください。

★スクールバスが運休する日(主に、土曜日/夏休み/冬休み/春休み/その他学校行事による振り替え休日など)は、予約バスとして運行します。その場合は有料200円となりますが、自宅まで送迎いたします。
 スクールバスが運休かどうかは、予約前に予め「東ハイヤー今金営業所」に確認してください。

予約制バス利用の流れ



今金行便

金原・豊田地区

「予約バス」が始まります。(案)

予約先 東ハイヤー

82-0166

運行開始：平成27年10月1日～

今金行1便 (スクールバス) 無料 月～金

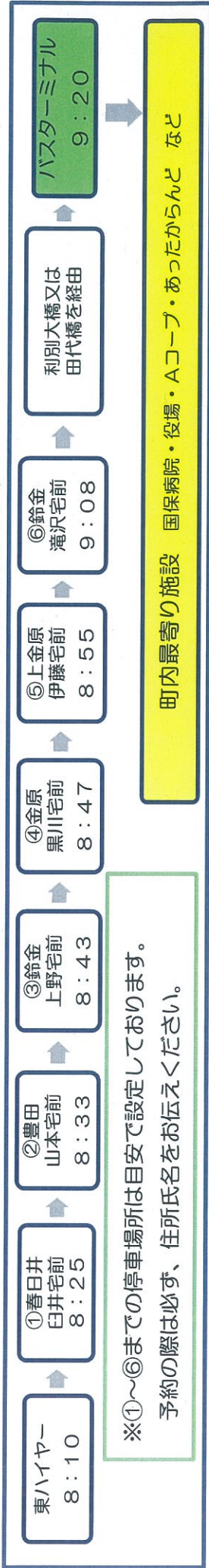
(前の日の夕方5時までか、当日の朝7時00分までに電話で予約が必要です)



①～⑧までの乗車場所は児童生徒宅前からの利用となります。

今金行2便 (予約バス) 有料200円 月～土 (ただし祝日は運休)

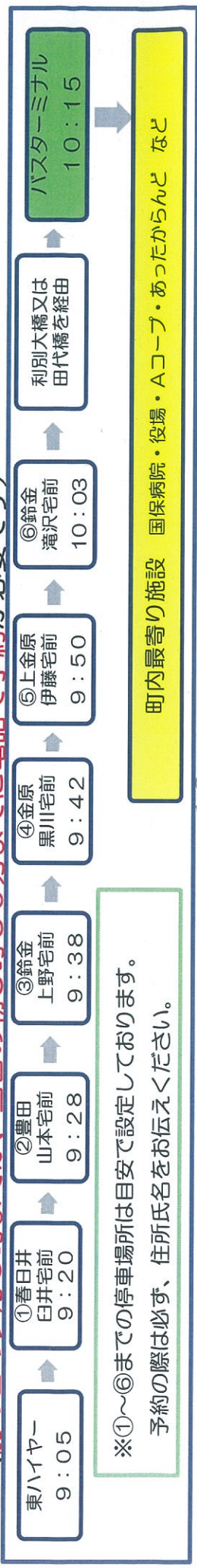
(前の日の夕方5時までか、当日の朝7時30分までに電話で予約が必要です)



※①～⑥までの停車場は目安で設定しております。予約の際は必ず、住所氏名をお伝えください。

今金行3便 (予約バス) 有料200円 月～土 (ただし祝日は運休)

(前の日の夕方5時までか、当日の朝8時30分までに電話で予約が必要です)



※①～⑥までの停車場は目安で設定しております。予約の際は必ず、住所氏名をお伝えください。

「予約バス」金原・豊田地区時刻表（案）

運行開始：平成27年10月1日～

金原・豊田帰便

町内最寄り施設

国保病院・役場・としべつ・郵便局・銀行・あったからんど・Aコープなど

予約があった最寄り施設に迎えに行きます。

	今金バスターミナル	今小	今中	料金
帰り1便	13:00			有料200円
帰り2便	14:40	14:45		スクールバスは無料 予約バスの場合200円
帰り3便	15:50	15:55	16:05	スクールバスは無料 予約バスの場合200円
帰り4便	16:50			有料200円
帰り5便	19:15			有料200円

予約者の自宅近く停留所へ

※八束・白石地区と同様の注意・説明事項記入

予約バス利用の流れ

予約先 東ハイヤー 82-0166



今金行便の利用予約状況で運行

利用者は下車する時に帰りの希望便と乗る場所を運転手に伝えます

今金行便

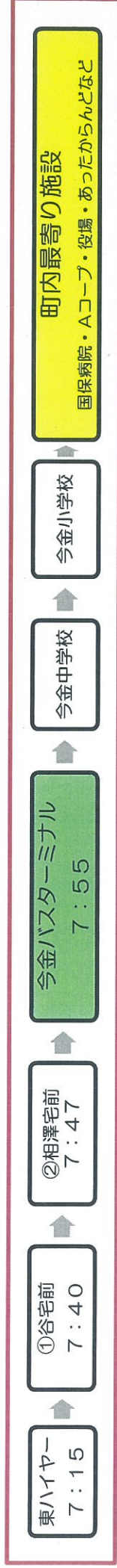
日進地区

「予約バス」が始まります。(案)

予約先 東ハイヤー
82-0166

今金行 1 便 (スクールバス) 無料 月～金

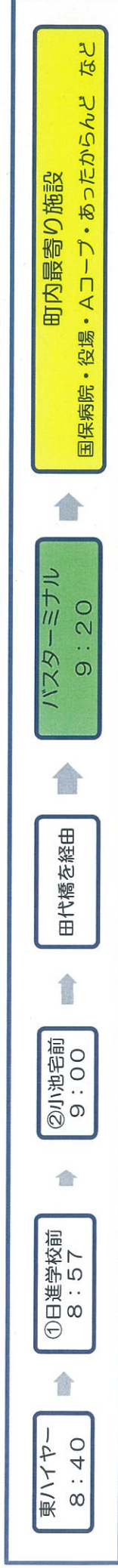
(前の日の夕方5時までか、当日の朝7時00分までに電話で予約が必要です)



①～②までの乗車場所は児童生徒宅前からの利用となります。

今金行 2 便 (予約バス) 有料 200 円 月～土 (ただし祝日は運休)

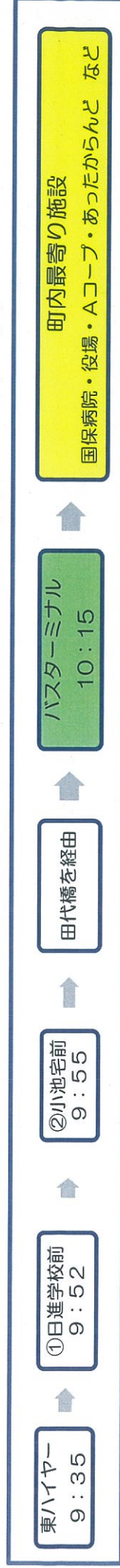
(前の日の夕方5時までか、当日の朝8時00分までに電話で予約が必要です)



①～②の停車場所は、目安で設定しております。予約の際は必ず、住所氏名をお伝えください。

今金行 3 便 (予約バス) 有料 200 円 月～土 (ただし祝日は運休)

(前の日の夕方5時までか、当日の朝9時00分までに電話で予約が必要です)



①～②の停車場所は、目安で設定しております。予約の際は必ず、住所氏名をお伝えください。

日進帰便

「予約バス」日進地区時刻表（案）

運行開始：平成27年10月1日～

町内最寄り施設

国保病院・役場・としべつ・郵便局・銀行・あつたからんど・Aコープなど

予約があった最寄り施設に迎えに行きます。

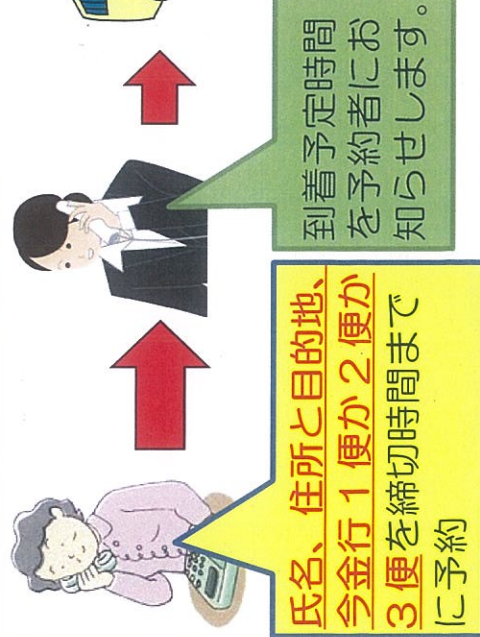
	今金バスターミナル	今小	今中	料金
帰り1便	13:00			有料200円
帰り2便	14:50	14:55		スクールバスは無料 予約バスの場合200円
帰り3便	15:50	15:55	16:05	スクールバスは無料 予約バスの場合200円
帰り4便	16:50			有料200円
帰り5便	19:15			有料200円

予約者の自宅近く停留所へ

※八束・白石地区と同様の注意・説明事項記入

予約制バス利用の流れ

予約先 東ハイヤー 82-0166



氏名、住所と目的地、今金行1便か2便か3便を締切時間までに予約

到着予定時間を予約者にお知らせします。

今金行便の利用予約状況で運行

利用者は下車する時に帰りの希望便と乗る場所を運転手に伝えます

帰りの5便から選んで帰宅できます

平成27年度今金町デマンドバス実証調査運行の概要

■実証調査の目的

平成24年度実施した「今金町地域交通サービス導入調査事業」で明らかになった今後の方向性に基づき、平成25年度に、北海道運輸局、北海道、今金町、交通事業者、地域住民で構成する「今金町地域公共交通確保維持改善協議会」を立ち上げ、協議を重ね、平成25年度には八束・白石地区でデマンドバス導入のための実証調査を実施、同地区は昨年10月から本格運行へと移行しました。

また、昨年度は、金原・豊田地区、日進地区で実証調査を行い、両地区については本格運行への移行を検討中です。

デマンドバス導入地域の拡大を図るため、今年度も新たな地区での実証調査を検討しており、6月4日に開催された平成27年度第1回今金町地域公共交通確保維持改善協議会において次のとおり実証調査を行うことが協議されました。

■実証調査運行の期間（予定）

- ・平成27年9月1日（火）～9月30日（水）月～土（日・祝日除く）
- ・平成28年2月1日（月）～2月29日（月）月～土（日・祝日除く）

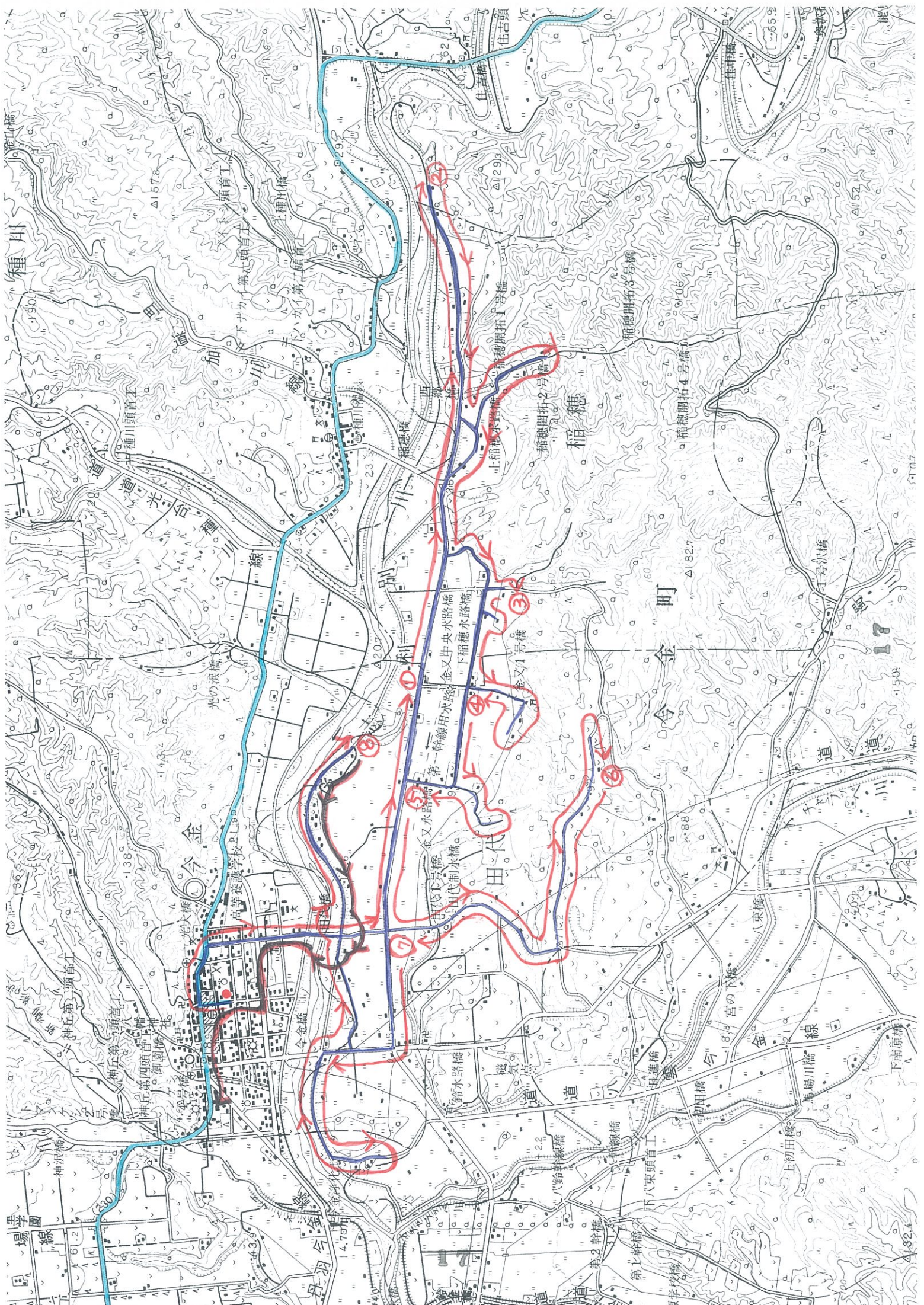
■実証調査運行のエリア（1系統）（予定）

田代・稲穂地区方面	運行日：月～土（日祝日除く）
路線延長：約33km、所要時間：約50分程度	

■実証調査運行の主な内容

●デマンド（予約）バスの運行

- ・函館バスの幹線瀬棚線（長万部～せたな）運行については、改善を図りながら守っていきます。
- ・幹線バスとの乗り継ぎができる時間設定としたフィーダー線（支線）運行を行います。
- ・フィーダー線（支線）運行は、デマンド（完全予約制）で乗り合いとし、ハイヤー車両または小型バス車両による不定運行とし、事前予約がない場合は、その便の運行はしません。
- ・1回（片道） 有料 200円で利用できます。
- ・実証調査期間中は、患者バスの運行はしません。
- ・今金橋の改修工事を見越し、田代橋を通るルートで運行します。
- ・土曜日は、帰りの予約バスを増便して運行します。
- ・利用には、行きも帰りも、予約バスの出発時間の30分前までに東ハイヤーに予約が必要です。



今金行便

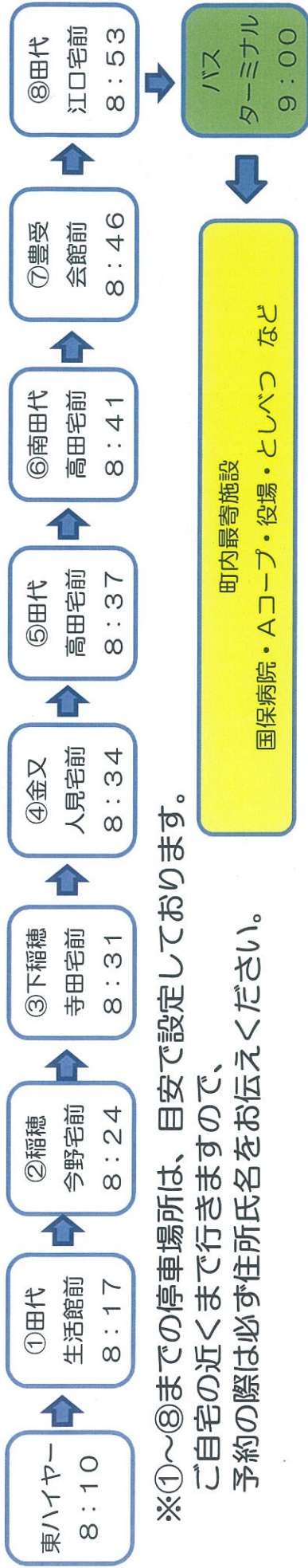
「予約バス」田代・稲穂地区 実証調査運行を実施します。

実施期間 平成 27 年 9 月 1 日～9 月 30 日

<予約先>

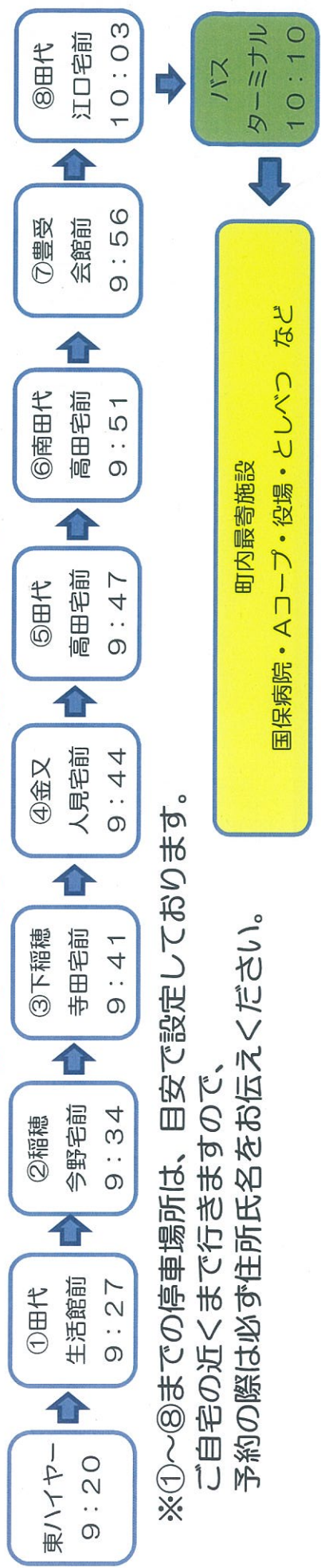
東ハイヤー 82-0166

今金行1便 予約バス 有料200円 月～土（ただし祝日は運休）
 （前の日の夕方5時までか、当日の朝7時30分までに電話で予約が必要です）



※①～⑧までの停車場所は、目安で設定しております。
 ご自宅の近くまで行きますので、
 予約の際は必ず住所氏名をお伝えください。

今金行2便 予約バス 有料200円 月～土（ただし祝日は運休）
 （前の日の夕方5時までか、当日の朝8時30分までに電話で予約が必要です）



※①～⑧までの停車場所は、目安で設定しております。
 ご自宅の近くまで行きますので、
 予約の際は必ず住所氏名をお伝えください。

「予約バス」田代・稲穂地区 実証調査運行

平成27年9月1日～9月30日

田代・稲穂帰便

☆必ず出発30分前までに予約が必要です☆

町内最寄り施設

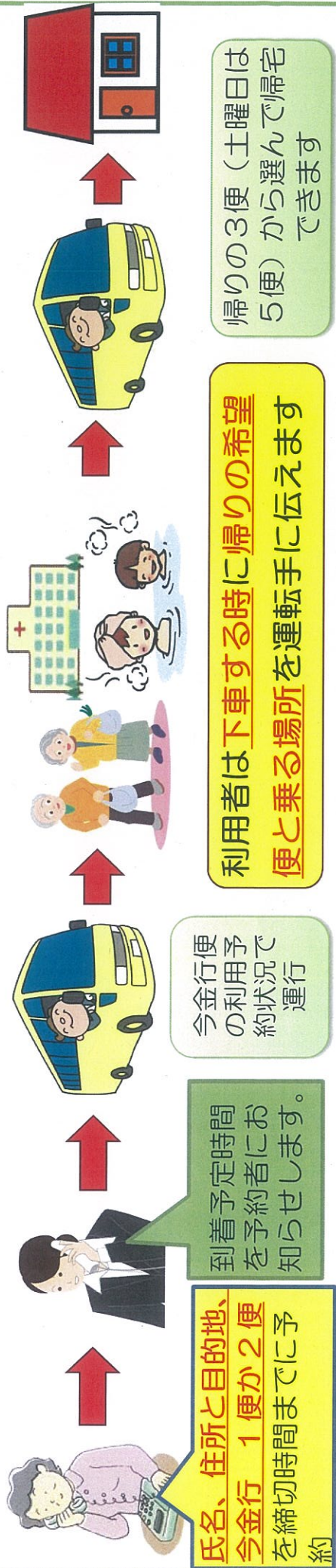
国保病院・Aコープ・役場・
としべつ・郵便局・銀行・
美容室・歯医者・あったか
らんどなど

予約があった最寄り施設
に迎えに行きます。

帰り便	今金バスターミナル	運行日	料金
帰り1便	13:00	月～土 (祝日は運休)	有料200円
帰り2便	14:20	土曜日のみ	有料200円
帰り3便	15:30	土曜日のみ	有料200円
帰り4便	16:50	月～土 (祝日は運休)	有料200円
帰り5便	19:15	月～土 (祝日は運休)	有料200円

予約者の
自宅近く
の停留所
へ

予約制バス利用の流れ



※帰り2便と3便は、土曜日のみ運行します。

予約先 東ハイヤー 82-0166

今後のスケジュール（案）について

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・今金町高齢者交通料金助成事業対象者への案内通知等開始
5月 ～ 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催 ・ フィーダー系統確保維持計画、生活交通改善事業計画申請（協議会から国へ申請） ・ 庁舎内ワーキング開催（年間を通し適宜） ・ 実証調査の事務手続き等（6月定例会へ補正）
7月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催 ・ 新地区における実証調査詳細事項の設定（料金・経路・運用方法） ・ 新地区における実証調査地域住民説明会、広報誌掲載による町民周知
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新地区実証調査実施 9月1日(火)～9月30日(水) ・ 金原・豊田地区、日進地区本運行開始に伴う説明会、広報等による町民周知
10月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金原・豊田地区、日進地区本運行スタート ・ 新地区実証調査の実施結果に基づく意見聴取
12月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催 ・ 新地区の冬道実証調査における詳細事項の設定（料金・経路・運用方法） ・ 広報等による町民周知
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新地区実証調査実施 2月1日(月)～2月29日(月)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催 ・ 次年度申請に向けた具体的な地域交通の運用計画